

1/19
(水)

鳥インフルエンザ対策に義援金 防疫対策の一助として

1月19日、出水地区獣医師会（北野吉秋会長）が町に義援金を贈りました。

これは、同月12日に発生した鳥インフルエンザの消毒作業に従事しているかたがたや今後の防疫対策に役立ててほしいという思いで、川添町長へ手渡されました。

北野会長は「日頃から狂犬病の予防接種など協力をいただき感謝している。少しばかりだが、これからの活動の一助としてほしい」と話し、町へ託しました。



寄付した出水地区獣医師会

1/21
(金)

城川内小で火災避難訓練 命を守る行動を学ぶ

1月21日、城川内小学校（海江田徹男校長・80人）で火災避難訓練がありました。

これは災害時に命を守る行動を学ぶことを目的に、全校児童による避難訓練や分遣所職員による講話、煙の実体験などが行われました。

煙の実体験では、煙が充満したテントの中に子どもたちが入り、ハンカチで口を押さえながら、低い姿勢をとる重要さを学んでいました。

5年の桐野龍^{れお}王君は「実際に煙の中に入ると前が

見えなくて怖かった。火事は火だけではなく煙も危ないとわかった」と話しました。



低い姿勢でテントから脱出する児童

1/22
(土)

第12回長島の子表彰式 長島の良さを次の世代へ

1月22日、町文化ホールで第12回長島の子表彰式が行われました。

これは、長島町の児童生徒の優れた個性を発見し、表彰することで、心身ともに健全な児童生徒を育むことを目的に行われています。

今回は小学生96人、中学生1人、高校生1人が対象。川添町長から表彰状、大浦慶子教育長からメダルを受け、式の最後には表彰者へのプレゼントコンサートも開かれました。

代表で鷹巣小6年の村迫凜乃さんが「とても心に残

る時間となった。長島に生まれたこと、見守ってくれるかたに感謝しながら、長島の良さを次の世代につなげていきたい」とお礼の言葉を述べました。



表彰状を受け取る児童